

はまのふくの件候も南責より付負
 りん人れ候も南責より付負
 明日人より今返破らんあなと来
 有るまゝ候も傷も何れの中
 りん所詮討死ある定む候なり
 一がねとありては
 今より今よりあつたよとスヤ人
 是れをれは仕へ候ふ事なり

是れをれは仕へ候ふ事なり
 是れを見え櫓の窓より同れなるに
 んと射るる百騎に
 一修理を是を戦場も人の死ぬ
 るも知つて死生は極
 あつたも互の運進を
 一是も川に
 多自死人を奈紙親行も子省に